

# スパークス・新・国際優良日本株ファンド (愛称 厳選投資)

お客様向けレポート  
2021年7月

特化型

追加型投信／国内／株式

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

## 今後も業績の伸びしろが大きいと考えられる保有銘柄

当ファンドは、2021年前半に一部の業界で見られた株価上昇トレンドに乗ることはできませんでしたが、現在のポートフォリオは下記のような魅力的な企業で占められており、中長期の業績展望は明るいと考えられます。これらが、やがて株価のリターンにも反映されていくというのが私どもの楽観的且つ揺るぎない見解です。

### 今後も業績の伸びしろが大きいと考える当ファンド保有銘柄の特徴

1 業界内で圧倒的な競争優位性を維持



2 今後の成長産業



3 日本国内に留まらず地球規模で展開していけるビジネス



### 当ファンド上位銘柄は、2008年の世界金融危機前のピーク業績と比べて、業績等は大きく成長

|            | 2008年金融危機直前のピーク業績   |   | 2021年度業績<br>(コンセンサス予想) |           |
|------------|---------------------|---|------------------------|-----------|
| ソニーグループ    | 営業利益 3,745億円        | ➡ | 9,900億円                | (2.6倍)    |
| 日本電産       | 営業利益 768億円          | ➡ | 1,930億円                | (2.5倍)    |
| リクルートHD    | 調整後EBITDA 1,502億円   | ➡ | 3,025億円*1              | (2.0倍) *2 |
| ソフトバンクグループ | 株主価値 (NAV) *3 2~3兆円 | ➡ | 26兆円                   | (9~13倍)   |

(ご参考) 当ファンドでは保有していないTOPIX構成上位3銘柄\*4

トヨタ自動車 : 営業利益22,704億円⇒28,769億円 (1.3倍)

三菱UFJFG : 当期純利益8,809億円⇒8,420億円 (0.96倍)

任天堂 : 営業利益5,553億円⇒6,204億円 (1.1倍)

### 当ファンドの楽観的且つ揺るぎない見解

投資先企業は中長期の業績展望は明るく、今後株価にも反映されていく見通し

\*1 今期会社予想調整後EBITDALレンジ2,700~3,350億円の中央値

\*2 2014年上場のため2011年度からの利益増加率

\*3 同社2020年3月期第3四半期決算および2021年3月期通期決算説明会プレゼン資料より推定

\*4 2021年5月末現在のTOPIXに占めるウェイトが大きい銘柄のうち、当ファンド保有銘柄を除いた上位3銘柄を記載しています。

※ 上記は当ファンドの運用への理解を深めていただくためのご参考資料であり、特定の有価証券等を推奨しているものではありません。

出所：日本取引所グループ、会社資料、スパークス・アセット・マネジメント、FactSet Pacific Inc. (2021年6月30日現在)

当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下当社）が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。当資料の正確性及び完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。

# スパークス・新・国際優良日本株ファンド (愛称 厳選投資)

お客様向けレポート  
2021年7月

特化型

追加型投信／国内／株式

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

## 当ファンドの運用状況

当ファンドは、今年2月半ばから米長期金利上昇に伴う成長株の調整局面以降、基準価額の芳しくない状況が続いておりましたが、5月に直近の安値をつけて以降基準価額は回復傾向にあります。個別銘柄では、6月に日立製作所を大きく買い増しし、パフォーマンスに貢献しました。

現在のポートフォリオは、グローバルで成長性があり、質の高い魅力的な企業群で構成されていると考えています。また大半の保有銘柄については、その潜在成長力および長期見通しが株価に十分反映されておらず、引き続き中長期的に市場平均を上回る株価推移が期待できることから、継続保有する方針です。

## 当ファンドの基準価額と参考指数の推移

(2008年3月27日～2021年6月末)



過去のパフォーマンス (2021年6月30日現在)

|        | 厳選投資    | 参考指数    | 差異      |
|--------|---------|---------|---------|
| 1ヶ月間   | 2.42%   | 1.19%   | 1.23%   |
| 3ヶ月間   | -0.35%  | -0.33%  | -0.02%  |
| 6ヶ月間   | 2.25%   | 8.90%   | -6.64%  |
| 1年間    | 25.33%  | 27.34%  | -2.01%  |
| 3年間    | 33.76%  | 20.48%  | 13.27%  |
| 設定来    | 419.13% | 109.45% | 309.68% |
| 年率リターン | 12.96%  | 5.62%   | 7.34%   |
| 年率リスク  | 19.27%  | 21.50%  | -2.23%  |

保有上位5銘柄 (2021年6月30日現在)

| 順位 | コード  | 企業名           | 保有比率 |
|----|------|---------------|------|
| 1  | 6758 | ソニーグループ       | 9.0% |
| 2  | 6594 | 日本電産          | 8.5% |
| 3  | 9984 | ソフトバンクグループ    | 8.4% |
| 4  | 6098 | リクルートホールディングス | 8.3% |
| 5  | 6501 | 日立製作所         | 7.9% |

※ 参考指数 (TOPIX (配当込み)) は当ファンドのベンチマークではありません。

※ 分配金再投資基準価額は信託報酬控除後のものであり、税引前の分配金を再投資したものと計算したものです。

※ 基準価額は信託報酬控除後です (過去のパフォーマンスは月末値により算出しています)。

※ 年率リターンは計算期間 (2008年3月27日～2021年6月末) におけるリターンを年率換算しています。年率リスクも同計算期間における日次リターンの標準偏差 (年率換算) です。

出所: スパークス・アセット・マネジメント、FactSet Pacific Inc. (2021年6月30日現在)

当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社 (以下当社) が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、販売会社からお渡しする投資信託説明書 (交付目論見書) の内容を必ずご確認ください。当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もししくは示唆するものではありません。当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。当資料の正確性及び完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。当資料は目的によらず、当社の許可なく複製・複写することを禁じます。

# スパークス・新・国際優良日本株ファンド (愛称 厳選投資)

お客様向けレポート  
2021年7月

特化型

追加型投信／国内／株式

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

## なぜポートフォリオに銀行株と半導体関連株を組み入れないか？

### 銀行株を組み入れない理由



- ✓ 現在の日本経済は企業部門・家計部門ともに現金余剰であり、貸出需要が低い
- ✓ ローカル色の強いビジネス
- ✓ 国内の金利上昇の持続性も不透明

#### 貸出需要が低い

- 日本企業は過去10年以上豊富な現預金を抱えており、家計の金融資産総額は史上最高を更新中
- 2018年まで好調な景況下にあった当時の日本でも、国内貸出残高が大幅に伸びていたという事実はない

#### ローカル色の強いビジネス

- 世界中どの国でも最大手金融機関は地元発祥の銀行
- 日本のメガバンクの海外進出による成功は想定しにくく、必然的に銀行の成長機会は日本の低い経済成長率に限定される

#### 国内の金利上昇持続は不透明

- コロナウイルス蔓延が収束しても少子高齢化による深刻な需要不足という根本的問題は解決せず、インフレが定着することによる継続的な金利上昇は見込みにくい

### 半導体関連株を組み入れない理由



- ✓ 需要増減に伴う業界であるため、将来予測が難しい
- ✓ 半導体を活用して自社製品・サービスが強化される企業のほうが魅力的

#### 将来予測が難しい

- 歴史上シリコンサイクルと言われる激しい需要増減に伴う業界であるため、将来予測が難しい

#### 半導体を活用する企業のほうが魅力的

- 携帯電話インフラを手掛ける通信会社株よりも、そのインフラを利用して株主価値を増やせるインターネット企業株を選好するのと似た発想

## 資本財企業へ投資する際は？

半導体製造装置ビジネス、工作機械メーカー、産業用ロボットメーカー、造船業などは、タイミングを読み違えると、設備過剰状態によってその後の不需用期が思いのほか長続きするリスクあり！

⇒当ファンドは、当該企業の売上が納入先業界の生産能力に直結しているようなビジネスは避ける傾向

### 当ファンド組入資本財企業



**日本電産**  
DCモーターはエレクトロニクス最終製品に組み込まれる機構部品



**キーエンス**  
製造現場の生産性向上を実現するためのソリューションビジネス

⇒好・不況時における業績の高低差は、一般的な資本財メーカーに比べて小さいと想定

### 当ファンド保有の資本財企業

社会全体の設備投資動向の影響は受けるが、相応な需要は常に期待できる！

※ 上記は当ファンドの運用への理解を深めていただくためのご参考資料であり、特定の有価証券等を推奨しているものではありません。

出所： 会社資料、スパークス・アセット・マネジメント (2021年6月30日現在)

当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下当社）が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もししくは示唆するものではありません。当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。当資料は目的によらず、当社の許可なく複製・複写することを禁じます。

# スパークス・新・国際優良日本株ファンド (愛称 厳選投資)

お客様向けレポート  
2021年7月

特化型

追加型投信／国内／株式

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

当資料はお客様向け資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書（交付目論見書）および目論見書補完書面をお渡しますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。

## ■投資リスク

当ファンドは、主として国内の株式などの値動きのある有価証券に投資しますので、ファンドの基準価額は変動します。**従って、投資者の皆さまの投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。**

ファンドが有する主な変動要因は、次の通りです。※変動要因は下記に限定されるものではありません。

●株価変動リスク ●集中投資のリスク ●信用リスク ●その他（システムリスク・市場リスクなどに関する事項等）

ファンドのリスクなどについては、「投資信託説明書（交付目論見書）」にわくわく記載されております。お申込みにあたっては、必ず内容をご確認いただき、ご自身でご判断ください。

## ■ファンドの費用

### 投資者が直接的に負担する費用

|     |         |                                                                               |
|-----|---------|-------------------------------------------------------------------------------|
| 購入時 | 購入時手数料  | 購入申込受付日の基準価額に3.3%（税抜3.0%）を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た額とします。※詳しくは販売会社までお問い合わせください。 |
| 換金時 | 信託財産留保額 | 換金申込受付日の基準価額に対して0.3%の率を乗じて得た額をご負担いただきます。                                      |

### 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

|    |                  |                                                                                                                                                                                                                    |
|----|------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 毎日 | 運用管理費用<br>(信託報酬) | 日々の信託財産の純資産総額に対して年率1.804%（税抜1.64%）を乗じて得た額とします。〔委託会社0.99%（税抜0.90%）、販売会社0.77%（税抜0.70%）、受託会社0.044%（税抜0.04%）〕<br>運用管理費用（信託報酬）は、ファンドの計算期間を通じて毎日計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日および毎計算期末または信託終了の時に、信託財産から支払われます。 |
|    | 監査費用<br>印刷費用     | 監査費用、印刷費用などの諸費用は、ファンドの純資産総額に対して年率0.11%（税抜0.10%）を上限とする額がファンドの計算期間を通じて毎日計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日および毎計算期末または信託終了の時に、信託財産から支払われます。                                                                     |
| 随時 | その他費用・<br>手数料    | 組入る有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用等は、その都度信託財産から支払われます。これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。                                                                                                                           |

※当該手数料等の合計額については、ファンドの購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。

## ■お申込みメモ

|      |                                                                                                                                                                                         |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 購入単位 | 販売会社が別に定める単位 ※詳しくは販売会社までお問い合わせ下さい。                                                                                                                                                      |
| 購入価額 | 購入申込受付日の基準価額                                                                                                                                                                            |
| 換金価額 | 換金申込受付日の基準価額から信託財産留保額を控除した額                                                                                                                                                             |
| 換金制限 | 信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金申込には制限を設ける場合があります。                                                                                                                                               |
| 課税関係 | 課税上は株式投資信託として取扱われます。<br>公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度及び未成年者少額投資非課税制度の適用対象です。原則として配当控除の適用が可能です。<br>* 上記は2021年4月末日現在のものですので、税法が改正された場合等には、内容が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。 |

## ■特化型に関して

当ファンドは、一般社団法人投資信託協会「投資信託等の運用に関する規則 信用リスク集中回避のための投資制限の例外」を適用して特化型運用を行います。そのため、一般のファンドにおいては、一の者に係るエクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率として10%を上限として運用を行うところを、当ファンドにおいては、35%を上限として運用を行います。

# スパークス・新・国際優良日本株ファンド (愛称 厳選投資)

お客様向けレポート  
2021年7月

特化型

追加型投信／国内／株式

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

## ■ファンドの関係法人について

- 委託会社 スパークス・アセット・マネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第346号  
（加入協会）一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会 日本証券業協会  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会  
信託財産の運用指図、受益権の発行等を行います。
- 受託会社 三菱UFJ信託銀行株式会社  
委託会社の指図に基づく信託財産の管理等を行います。なお、信託事務の一部につき日本マスタートラスト信託銀行株式会社に委託を行います。
- 販売会社 下記一覧参照  
ファンドの受益権の募集・販売の取扱い、一部解約請求の受付、一部解約金・収益分配金・償還金の支払いの取扱等を行います。

| 販売会社                  | 登録番号                      | 加入協会    |                         |                         |                                |
|-----------------------|---------------------------|---------|-------------------------|-------------------------|--------------------------------|
|                       |                           | 日本証券業協会 | 一般社団法人<br>金融先物<br>取引業協会 | 一般社団法人<br>日本投資<br>顧問業協会 | 一般社団法人<br>第二種<br>金融商品<br>取引業協会 |
| 野村證券株式会社              | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第142号  | ○       | ○                       | ○                       | ○                              |
| auカブコム証券株式会社          | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第61号   | ○       | ○                       | ○                       |                                |
| 株式会社SBI証券             | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号   | ○       | ○                       |                         | ○                              |
| 岡三オンライン証券株式会社         | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第52号   | ○       | ○                       | ○                       |                                |
| きらぼしライフデザイン証券株式会社     | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第3198号 | ○       |                         |                         |                                |
| 株式会社熊本銀行              | 登録金融機関 九州財務局長（登金）第6号      | ○       |                         |                         |                                |
| 株式会社静岡銀行              | 登録金融機関 東海財務局長（登金）第5号      | ○       | ○                       |                         |                                |
| 株式会社十八親和銀行            | 登録金融機関 福岡財務支局長（登金）第3号     | ○       |                         |                         |                                |
| 損保ジャパンD証券株式会社         | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第106号  | ○       |                         |                         |                                |
| 株式会社千葉興業銀行            | 登録金融機関 関東財務局長（登金）第40号     | ○       |                         |                         |                                |
| 東海東京証券株式会社            | 金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第140号  | ○       | ○                       |                         | ○                              |
| 株式会社東京スター銀行           | 登録金融機関 関東財務局長（登金）第579号    | ○       | ○                       |                         |                                |
| とちぎんTT証券株式会社          | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第32号   | ○       |                         |                         |                                |
| 西日本シティTT証券株式会社        | 金融商品取引業者 福岡財務支局長（金商）第75号  | ○       |                         |                         |                                |
| フィデリティ証券株式会社          | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第152号  | ○       |                         | ○                       |                                |
| 株式会社福岡銀行              | 登録金融機関 福岡財務支局長（登金）第7号     | ○       | ○                       |                         |                                |
| 松井証券株式会社              | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第164号  | ○       | ○                       |                         |                                |
| マネックス証券株式会社           | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号  | ○       | ○                       | ○                       |                                |
| 株式会社みずほ銀行             | 登録金融機関 関東財務局長（登金）第6号      | ○       | ○                       |                         | ○                              |
| 水戸証券株式会社              | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第181号  | ○       |                         | ○                       |                                |
| LINE証券株式会社            | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第3144号 | ○       |                         |                         |                                |
| 楽天証券株式会社              | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号  | ○       | ○                       | ○                       | ○                              |
| スパークス・アセット・マネジメント株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第346号  | ○       |                         | ○                       | ○                              |

〔お問い合わせ先〕 スパークス・アセット・マネジメント株式会社  
ホームページ <https://www.sparx.co.jp/> 電話番号：03-6711-9200（受付時間：営業日9：00～17：00）